

21年度第2回ネットワーキングの場

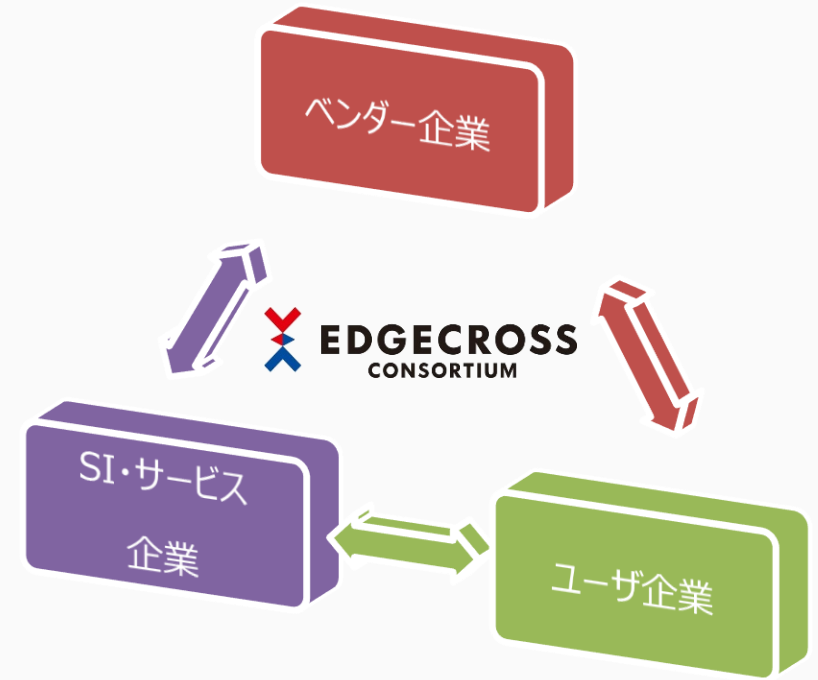
概要資料



一般社団法人Edgecrossコンソーシアム
事務局
2022年2月

はじめに

Edgecrossコンソーシアムは、
「ベンダー企業」・「SI・サービス企業」・「ユーザ企業」
を繋いだWIN-WIN-WINの体制構築を目指す



エコシステム構築の“キッカケづくりの場”となる『ネットワーキングの場』を提供し、
会員企業のソリューション提案力強化や、製造業のDX/IoT化へ寄与を目指す

21年度第1回総括

エコシステム構築の“キッカケづくりの場”となる『ネットワーキングの場』を提供し、
会員企業のソリューション提案力強化や、製造業のDX/IoT化へ寄与を目指す

概要

- 日時：8/20（金）13:30-16:00
- 説明者：アイ・エル・シー、アドバンテック、CTC、インテル
インフォコーパス、NTN、Empress、コネクシオ、
サイレックス・テクノロジー、たけびし、日本電技、
日本ストラステクノロジー、日本マイクロソフト、
パトライト、日立製作所、三菱電機、ECC
- 聴講者：103名（聴講者として参加した説明者等含む）



結果

説明者

全体評価

4点/5点

連携者の発掘

80%

- ・気軽な会話ができ、次のWeb会議での打ち合わせに繋がれた
- ・名刺交換機能が必要
- ・ブースに写真やロゴなどが掲載できた方がより集客に繋がる

聴講者

全体評価

3.7点/5点

次回の参加検討

94%

食品メーカー・社会インフラメーカー・素材メーカー等のユーザー企業も参加

- ・オンラインでの展示会参加として有効
- ・エッジアプリの紹介をされるブースがもっと多ければよかった。
- ・会場の全体像がうまく掴めず、出展していることが分からない企業があった

開催概要

エコシステム構築の“キッカケづくりの場”を提供し、会員企業のソリューション提案力強化に繋げる

日時	2022/2/24（木） 14:00-16:30	
形式	ブース対話型形式 説明者がブースを設け、リアルタイムに聴講者と会話を行う	○タイムテーブルは無く、希望の時間で説明や質疑が可能 ○個室を設け、個室にて個別の連携等の協議が可能 ○プレゼン・動画共有での説明と、その場で質疑応答が可能
場所	oVice（前回同様のオンラインシステム）	
対象者	非会員を含む 説明者：レギュラー会員以上 聴講者：非会員含む企業	○より多様な業態(ユーザ・装置メーカー等)の企業との交流が可能 ベンダ×SI等に加え、ベンダ×ユーザ/装置メーカー等の交流が広がる

システム概要



ネットワーキングの場

説明者一覧（本日時点）

会社名	説明予定の製品・ソリューション・サービスの名称(予定)	提供ソリューション	コラボレーション希望内容（聴講者へのメッセージ）	区分
アドバンテック株式会社	産業用エッジコンピューター UNO	IPC;	どうぞよろしくおねがいいたします。	エッジアプリケーション;ITゲートウェイ;
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	別途ご連絡	原価管理;生産管理;	assimee デジタルツインを早期構築	エッジアプリケーション;SIパートナー;
NTN株式会社	NTN軸受診断エッジアプリケーション(BearApp)	予防保全;稼働監視;リモート管理・メンテナンス;	NTN独自のアルゴリズムを搭載した軸受診断用エッジアプリケーション(無料体験版)についてご紹介いたします。 試用頂けるモニターユーザを募集していますので、ぜひブースまでお越しください。	エッジアプリケーション;
日本マイクロソフト株式会社	Microsoft Azure	予防保全;稼働監視;トレーサビリティ; 生産管理;リモート管理・メンテナンス; 省エネ;データ収集;	海外など他拠点の工場の状況把握にクラウドサービスの利用を検討ください。 Edge-Cloud連携を、Azure IoT Edge-Edgecrossの組み合わせで実現が可能です。 さらにAzureで用意されているServiceを利用することで予兆保全へのAI活用はBIのためのツールも利用できます。	ITシステム;
日本電技株式会社	■IoT技術で食品工場のDXを実現するNDソリューション ■食品製造業向け生産管理システムMisuzu8	予防保全;稼働監視;トレーサビリティ; 生産管理;原価管理;品質改善;	食品工場向け計装工事・自動制御システム構築を専門としている当社は、フィールド側の情報収集・統合から、エッジ領域、上位システムの構築まで幅広くソリューションを提供することができます。	SIパートナー;エッジアプリケーション;
日本ストラタステクノロジー株式会社	Stratus ztC Edge 100i/110i/200i/250i (200i/250iについては認定取得予定です)	IPC;	ストラタステクノロジーは40年に渡り全世界で無停止型コンピューターのハードウェアおよびソフトウェアを提供してきた企業です。あらゆる分野で社会インフラやビジネスの連続稼働を可能にし、安心して生活できる環境や人命、ビジネス資産の保護や収益の確保に貢献してきました。 Edgecross認定IPC、Stratus ztC Edgeは、産業分野のエッジ環境でとまらないシステムを実現する、高信頼性・簡単運用・長期保守のゼロタッチエッジコンピューティングです。 本イベントでは、導入にあたってのポイントや効果、導入例などについてもご紹介いたします。	推奨IPC;
株式会社バトライト	積層情報表示灯 LA6-POE エコシステムソリューション登録製品 設備トラブル等の現場状況をリモート制御及びデータ読み出し行え、設備改善に繋がります。 改善ポイント ①トラブル予兆②早期発見・解決③復旧・挽回 通信は、Modbus/TCP通信を採用。	稼働監視;予防保全;リモート管理・メンテナンス;	データコレクタは、日立産機システム製とCONTEC製を使用し、LA6-POE制御また状態読み出しを実施します。 ①ライト点灯／消灯機能 ●ライトを指定して、点灯／消灯を行います。 ②ライト点灯状態読み出し機能 ●ライトの点灯状態の一括読み出しを行います。	エコシステムソリューション;
株式会社 日立製作所	Hitachi Visual Inspection Application	生産管理;データ収集;	AI画像認識アプリケーションプラットフォーム/Hitachi Visual Inspection Applicationとは、AI画像認識を活用した目視検査・点検業務の、容易な導入と運用管理のために設計されたアプリケーションプラットフォームです。	エコシステムソリューション;
フエニックス・コンタクト株式会社	Edgecrossシステムと接続する工場内のネットワーク上に存在する保護すべき産業機器（例：PLC、DCS、HMI、ロボット、工作機械 等）に対して、産業用次世代IPSとして産業用ネットワーク専用のセキュリティソリューションを提供します。 FL MGUARDシリーズは、Edgecrossセキュリティガイドラインに記載されている「ネットワークでの対策」の中で、(2)資産管理、(3)ネットワーク構成管理、(4)ネットワーク境界対策、(6)不正通信検知対策、(7)長期可用性を求められる汎用OSを使ったSCADAやHMI(パネコン等)、IPCへの対策、に対応しています。 またEW50は、工場内ネットワークに加えて、遠隔地のITシステムと4G移動通信システムを介した産業機器ネットワークと接続するセキュリティソリューションを提供します。	ネットワークセキュリティ;	工場現場での産業用ネットワークのセキュリティソリューションをご提供いたします。 工場内のセキュリティをお考えであれば、ぜひお声がけください。 よろしくお願いたします。	エコシステムソリューション;
三菱電機株式会社	リアルタイムデータアナライザ、GENESIS64、NC Machine Tool Optimizer、MELIPC、データコレクタ	稼働監視;予防保全;データ収集;IPC;	当社はFA製品(シーケンサ・GOT・CNC・放電加工機など)に加え、エッジコンピューティング製品(Edgecross対応製品(iQEdgecross)、MELIPC)を提供しています。当社エッジコンピューティング製品を活用して頂けるSier様とともにお客様の工場IoT化に向けたソリューション構築・システムの導入をすすめていきたいと考えております。IoT化に向けたコラボレーションについてご興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。	エッジアプリケーション;データコレクタ;推奨IPC;
一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会 (JIIA)	JIIAは、マシンビジョン分野の標準化をグローバルに展開しているG 3メンバーの団体として活動しています。我々が取り組んでいる活動についてご説明致します。またインダストリー4.0から進化を続けているモノづくり領域において重要なデバイスとして位置づけられるマシンビジョン業界の動向についてもご案内させていただきます	マシンビジョン	スマートファクトリーに欠かせない領域であるマシンビジョン分野に関心をお持ちの方へ、我々はデバイスレリアに位置することからユーザーサイドの愚感が見え難いのが実情です。本活動を通して未来のモノづくりに期待されるご意見・ご要望などをお聞かせください。	—
一般社団法人Edgecrossコンソーシアム	Edgecrossコンソーシアム活動 マーケティング部会活動（食品製造業向けソリューションWG等）	—	Edgecrossコンソーシアムの会員にご加入頂き、共にDX/IoT化に向けたソリューション構築や発表を行っていきましょう。	—

ネットワーキングの場 ブースの対応イメージ（説明者向け）



会員向け

説明者参加希望者はこちらをクリック

自社ブース

① 自社ブースへの誘導



自社を知ってもらうために、ブースに
説明者の動画orプレゼンURLを常時掲載し、

聴講者は自由に閲覧

- * 画面共有機能を使い、セミナーのようにプレゼンを常時実施頂いても結構です。
- * 各社ブース以外にもインフォメーションでも動画配信予定
- * 開催前に各ブースの概要情報は聴講者に共有

自社ブース

② 自社の理解を促す

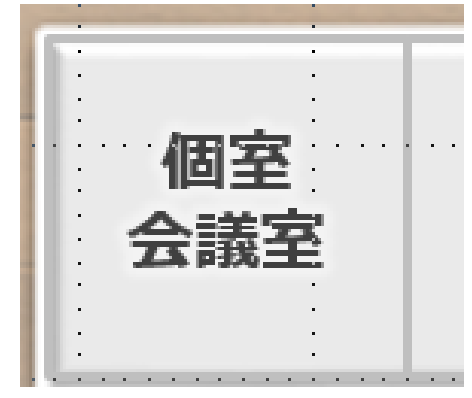


自社PC内のプレゼン資料等を共有し、
個別説明

- * 「アバター：音声の円」/「画面共有の円」のそれぞれの中に入れば誰でも「画面共有」・「音声共有」されるので、複数名に同時説明も可能

個室

③ 連携に関する協議を行う



個室にて打ち合わせが可能です。
外に音声は漏れません。

- * ロックも可能です

システム紹介（参考）

デモ体験も可能
デモ体験はこちらをクリック

oVice

<https://ovice.in/ja/>

まるで現実のような空間

メンバーに近づけば声が大きく聞こえ、遠ざかれば小さくなっていきます。アバターを動かすだけで、現実のように自由自在に会話ができます。

流動的なコミュニケーション

オヴィスでは話したい時に、その人に近づくだけで会話がスタートします。会話のための新しい部屋やグループを作成する必要はございません。

今のインターネット環境で十分

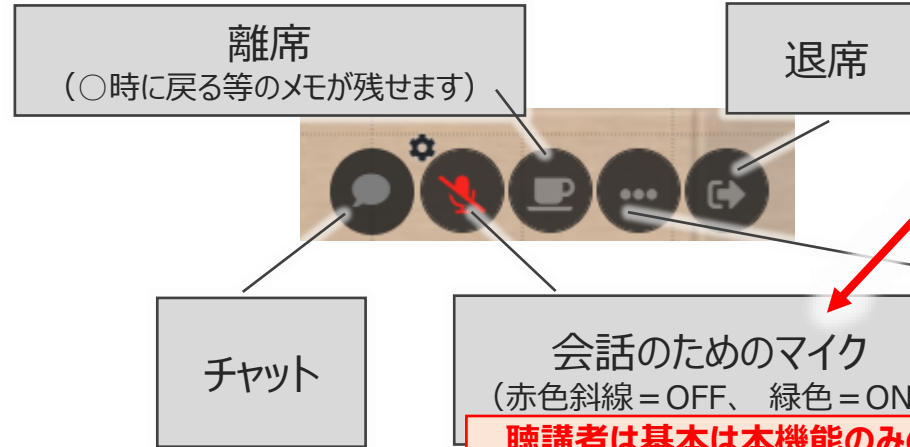
声が届かない人とは通信が切断されるなど常に最適化が講じられています。そのため、消費データが少なく、速度が**3Mbps**でも利用することができます。

基本操作

聴講者は基本はマイク機能のみの使用を想定してます。

コントロールバー

画面下を参照

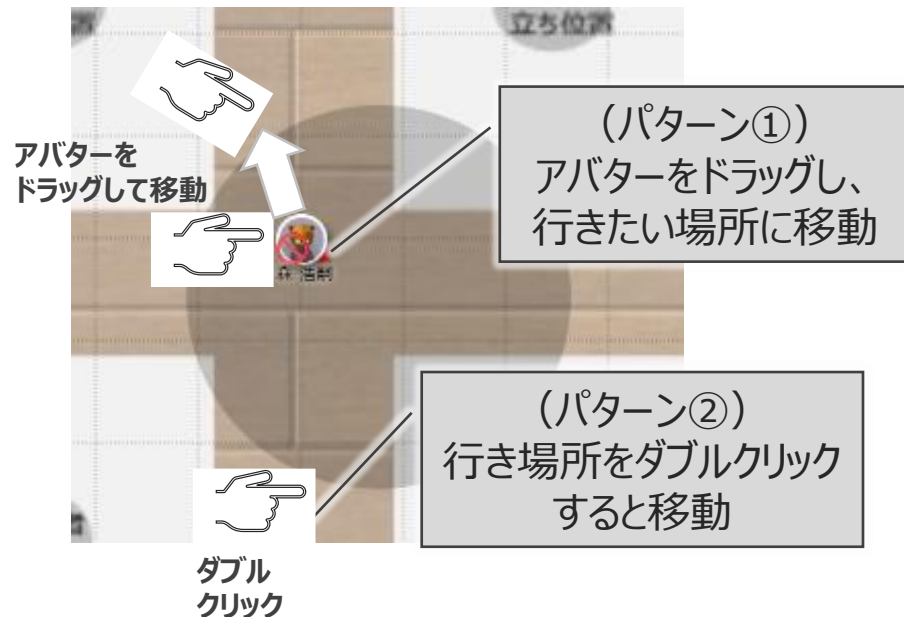


聴講者は基本は本機能のみの使用を想定してます。

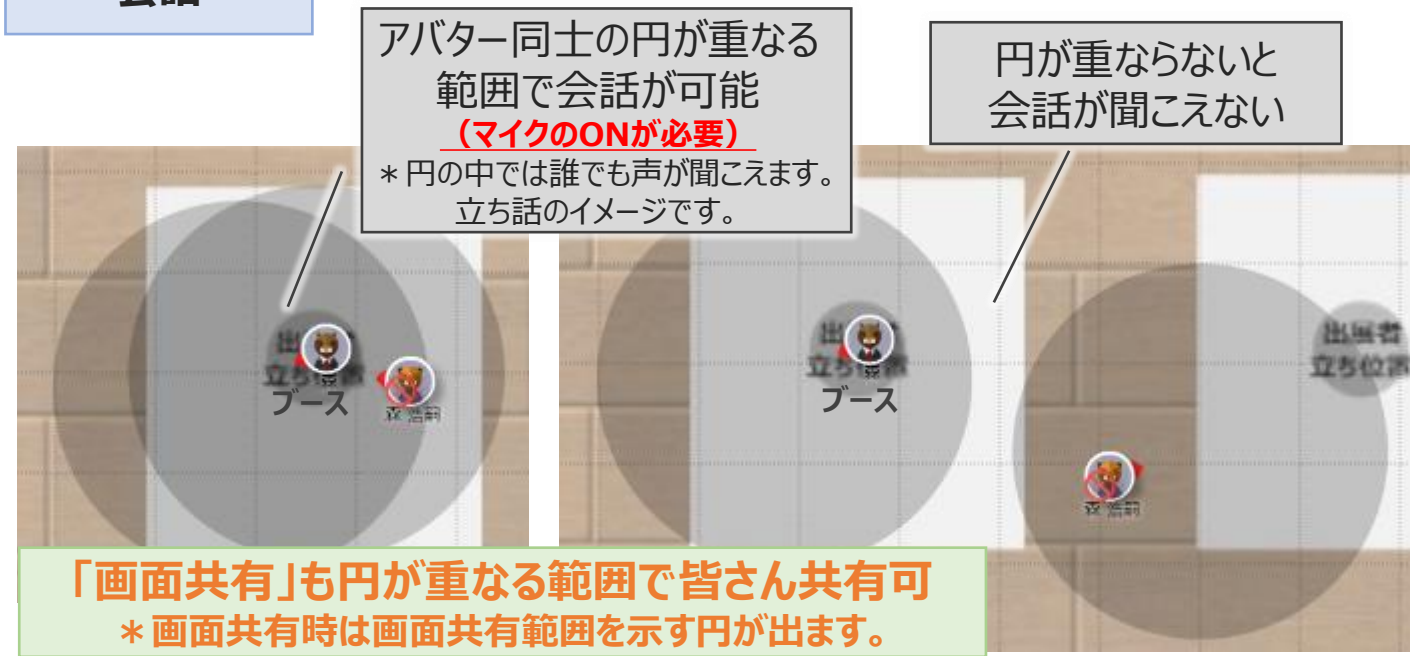


会場全体へのアナウンススピーカ
*原則OFF（白色）のままにしてください

アバター移動



会話



基本操作-オブジェクト

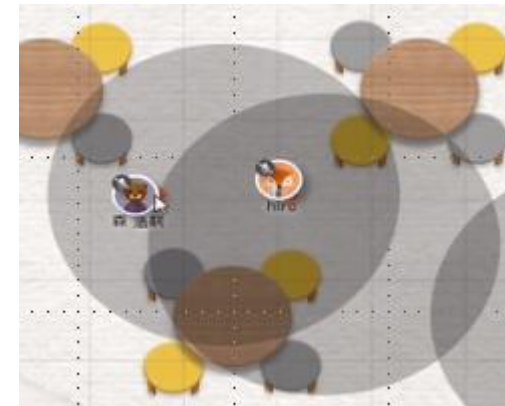
アバターを『右クリック』を行うと、追加機能が使用可能です。



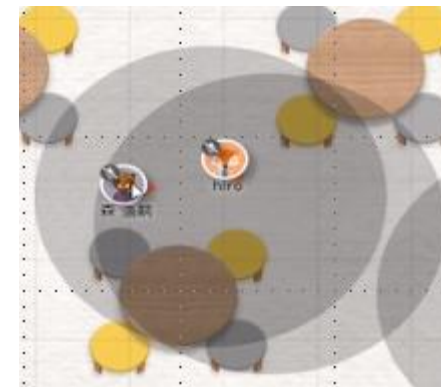
共有可能：自身PCの画面
PPT、動画などの起動中アプリ
(動画音声の共有も可能)

基本操作 -会話（補足）-

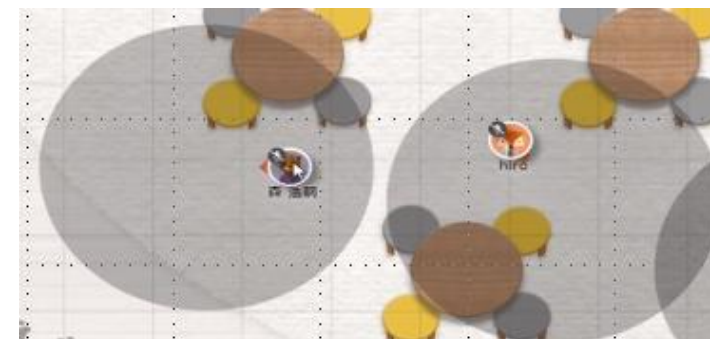
操作イメージ動画



円が重なれば会話可能
(音声発信をする場合は、
『マイクをON』に)



“色の濃い”円に入れば音声
より綺麗に聞こえます。



円が重ならければ
音声は聞こえません。

基本操作 -画面共有（補足①）-

操作イメージ動画



アバターを右クリックし、画面共有アイコンを選択



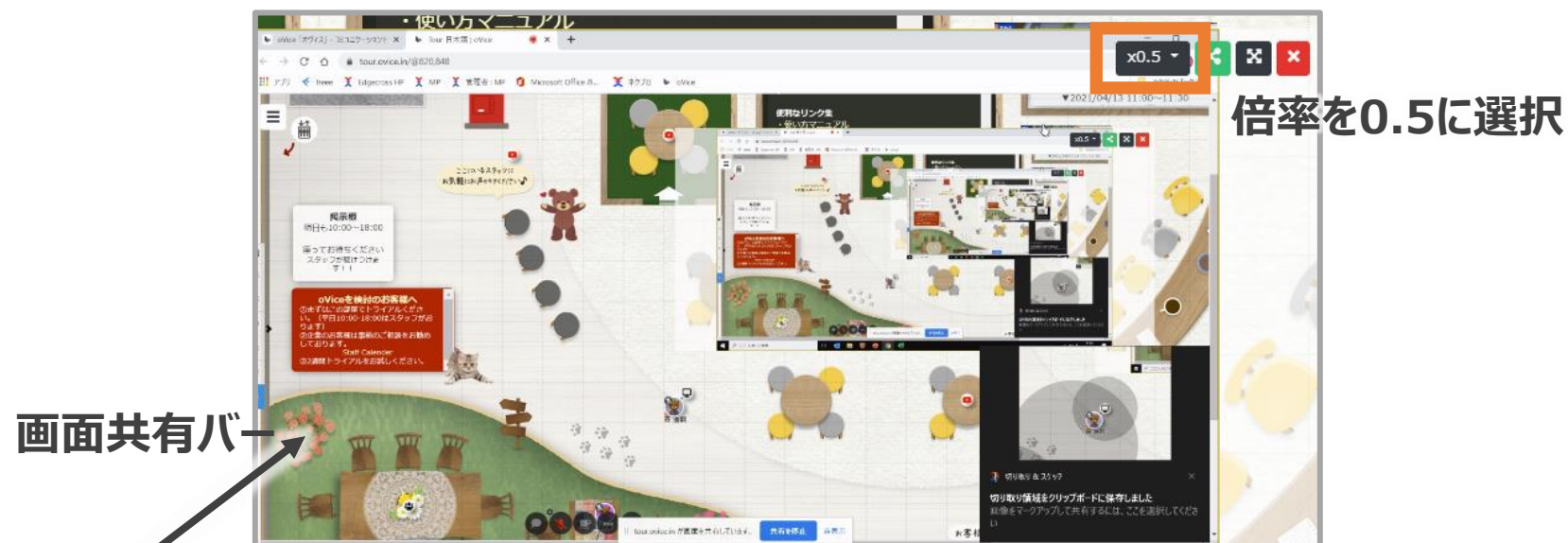
共有したい画面を選択（自分の画面・PPT・動画などを選択）



画面共有アイコンの円の中に入っている人と画面共有
（円に入れば誰でも画面が見れる。音声はアバターの円の範囲で共有）

基本操作 -画面共有（補足②）-

画面共有範囲（画面共有の円のサイズ）を小さくすることも可能 → 共有される範囲を狭める



基本操作 -画面共有（補足③）-

画面共有等の「アイコン」をクリックして自分を繋げると、
繋がっている人同士の音声は“よりクリア”に聞こえます。

話をしたい人が繋がっている
アイコン（画面共有等）をクリック



アイコンが繋がっている同士で
どこにいても音声はクリアに聞こえる

